

『母校に図書を寄贈』

船橋市の春田嘉文さん

本町益丸出身で、現在千葉県船橋市にお住まいの春田嘉文さんが、1月13日（金）母校の大崎中学校を訪れ、図書を寄贈されました。

春田さんは、「子ども達の夢を大きく育て、大崎町発展の一翼になれば…」という願いで、昭和52年から毎年、図書を寄贈されており、今回、寄贈した図書は『読書の時間に読む本～中学生版～』など約60冊。大崎中学校図書室にある『春田文庫』コーナーには、1,000冊を超える図書が蔵書されています。

この日は、生徒会学習部長の宮路清広さんと副部長の井之上智香さんが春田さんから目録を受け取り、お礼の言葉と感謝文を手渡しました。



『都道府県女子駅伝大会に 大崎中学校2年生田辺さん出場！』

1月15日（日）に京都市で開催された『第24回全国都道府県対抗女子駅伝競争大会』に、大崎中学校2年生の田辺千尋さんが初出場しました。

全9区間（42.195km）のうち、田辺さんは第8区（3km）を走り、時間は10分32秒。チーム順位12位、個人順位は16位という成績でした。（鹿児島チームは2時間20分35秒で14位）

田辺さんは、先般行われた第43回南日本長距離走大会の中学女子2・3年生3千メートルの部で優勝し、都道府県対抗女子駅伝の代表選手に選考されました。今後の益々の活躍を期待します。

田辺さんは「体調も良く、いつも通り走れました。また、全国大会で走れるようにがんばりたい！」と、今後の抱負を話してくれました。

『物産品販売所“すすぎ”オープン』

1月15日（日）、町東集落の大隅輪業前に『世界一小さな店“すすぎ”』がオープンしました。

この店では、会員がつくった新鮮野菜や工芸品、カブト虫の幼虫などが販売されています。店内には“語らいの場”も設けられており、会員になるといつでも利用できるそうです。

発起人は、三浦幸雄さん・福元孝平さん・宮崎益雄さんで、現在の会員は25人。福元さんは「店名の由来は、屋根に20年以上丈夫に根付いているすすぎにあやかって名付けました。今後は、会員の力を合わせて、大きな店にしていきたい。」と話されました。

